

2010年

10月3日（日曜日） 京丹後は食材と食の博物館 - 「京丹後食の祭典」 -

本日、京丹後市観光協会の皆さんの主催で「京丹後食の祭典」が盛大に開催されました。観光協会の皆さん、関係者の皆さんはじめ参加の市民の皆さんに心から感謝を申し上げます。

私たちの地域に隣接する日本海は、大陸の縁辺にあってこれだけの深さをもつ海は中緯度では世界的に珍しく、日本海の深い水量と中緯度の温暖な気候が四季を生み、その影響を地質形成を通じ一番象徴的に受けているのが、本市も属する山陰海岸地域であります。本市は、そんな水量と温暖に恵まれた気候と豊饒な地質を背景に、豊かで良質なお米や畑作物、カニやカキ、魚介類などの多様な農水産物に恵まれています。

山陰海岸が世界ジオパークに認定されようとしているのは、まさに山陰海岸の地質が隣接する日本海の水量と温暖な気候に多様に影響されたことの賜物であります。本市の海山の幸の豊かさも、世界ジオパークを生み出すような世界的に貴重な気候や地質を背景にするがゆえであり、それゆえに、山陰海岸ジオパークが日本海誕生の地質の博物館であるのと同様に、本市は、食材の博物館とでもいうような農水産物の豊かさであります。

本日は、京丹後の多様な食材を活用して、アイデア食品や創作料理、伝統料理、ジビエなど、盛りだくさんに展示や即売が開かれ、まさに食材と食の博物館として大いに賑わっています。今後は、世界ジオパークと並んで、共通の魅力をもつ京丹後の食材と食をますます大いに売り出していきたいと思っております。